



苦小牧市長
かなざわ すぐる
金澤 俊

さて、本年3月には、長年にわたり市民の皆さまの期待を集めてきた苦小牧市民文化ホール「ART CUBES」が、いよいよ供用開始を迎えます。ART CUBESは、芸術活動の発表の場、そして国内外の質の高い文化・芸術に触れる機会を提供する、本市のかけがえのない文化交流拠点となります。この新しいホールを十分に活用し、文化芸術活動の裾野を広げ、市民生活に潤いをもたらすとともに、まちなか活性化の核として、にぎわいの創出を図ってまいります。

また、本年は昭和41年に本市が全国で初めてスポーツ都市を宣言してから60周年を迎えます。この節目に、スポーツを通じた市民の健康づくりや豊かで明るいまちづくりに一層取り組んでまいります。

特に、2月には第25回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナダンペッツォ)が開催されます。昨年、nepiaアイスアリーナでの最終予選を経てオリンピック出場を決めた、女子アイスホッケー日本代表「スマイルジャパン」をはじめ、苦小牧にゆかりのある多くの選手が、世界の舞台で活躍してくれることを楽しみにしています。

そして、7月にはサッカーJ1・名古屋グランパスの夏季トレーニングキャンプが本市で実施されます。キャンプの受け入れは地域経済に大きな波及効果をもたらすだけでなく、「スポーツ観光都市」としてのブランドを国内外に発信する絶好の機会となります。市民の皆さまと共に選手たちに熱いエールを送り、その活躍を地域の力に変えて、更なるスポーツ振興と地域活性化につなげてまいります。

私たちを取り巻く環境は常に変化し続けておりますが、本年も“市民総活躍”により皆さまのお力添えをいただきながら、子どもたちの明るい声が聞こえるまち、そして障がいのある方やご高齢の方など全ての市民が「このまちに住んでよかった」と思っているまちを築いてまいります。

結びに、この一年が市民の皆さまにとって健康で、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。